

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 山陽高等学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 733-8551
広島県広島市西区観音新町4丁目12-5

E-mail t_hayanagi@sanyo.ed.jp

Website http://www.sanyo.ed.jp/

児童生徒数 男子 835 名 女子 355 名 合計 1190 名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「和を以てと貴と為す」を建学の精神として、ESDを人間関係の輪を広げる理念であると捉え、ESDの実践を通して「和」の精神を基本に、教育及びスポーツ文化の拠点として地域に信頼される学校となり、21世紀の持続的発展の担い手の育成を図る事を目標とした。

具体的には、国際理解、伝統文化、地域連携活動を柱に、①海外提携校との国際交流、②和太鼓公演発表活動、③地域の小学生の通学見守り活動を行った。

① 海外連携校との国際交流

台湾の交流提携校「穀保高級家事商業学校」と高校同士の学校交流の事業に取り組んでいる。

12月に2年生の生徒全員で台湾を訪れ、学校訪問し、交流している。交歓セレモニーやスピーチ発表、日本文化の発表、提携校による文化発表、授業体験などを通じて交流し、国際理解を深めた。

② 和太鼓公演活動（伝統文化）

わが国の伝統的和楽器である和太鼓のクラブ活動にて、郷土芸能の分野の伝統文化の演奏に取り組んだ。公民館、町内会のお祭り、病院や施設、小学校や中学校などにて地域の方々と演奏活動を通じて連携した。

今年度は、フランスのアグノー市にて開催された。「アグノー国際民族芸術祭」に日本代表として参加し公演すると共に、世界各国から参加した出演者や地元の方たちとの国際交流も体験した。

③ 小学生登下校見守り活動（地域連携ボランティア）

地域の町内会で実施している。南観音小学校区登下校見回り活動。「なんかん安全パトロール隊」に生徒も参加し、定期的に地域の子供たちの通学の安全を見守るボランティア活動を行なった。

今年度は見守り活動に対して、小学校児童の皆様より感謝状をいただいた。



① の写真（台湾高校交流）



② の写真（和太鼓フランス公演）



③ の写真（通学路見守り感謝状授与式 小学校にて）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ウェブサイト : ユネスコスクール公式ホームページ
書籍 : ESD (持続発展可能な開発の為の教育) 推進の手引き (初版) 平成28年3月 日本ユネスコ国際委員会刊

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育課程の中で特別活動として2年生全員台湾の提携校を訪問し、交流し国際理解を深めるように位置づけている。

全校生徒で地域の道路清掃活動に取り組み、環境美化・地域連携の内容において、持続可能な社会の実現について学ぶ機会としている。

教育課程において、「ひろしま企業研究」として、地域の企業について調査し、実際に企業の方と連携し学びを深めていく活動を通して地域社会や経済活動・地域の持続可能性に対する理解を深めることができ、また、協働する力や多様なコミュニケーションを行なう力をはぐくむ授業を設定する等の工夫に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌の中に、ボランティア活動（共同募金、地域清掃活動、障がい者支援活動）地域連携（地域巡回活動、交通安全通学路安全パトロール地域連携、地域自治体との連絡調整）、地域スポーツ文化活動（こどもスポーツ教室、文化講座）、国際交流（修学旅行、国際交流受け入れ、クラブ国際交流）、リユース・リサイクル活動（分別活動・回収処理、制服リサイクル活動）などを位置づけ、学校全体で組織的かつ継続的にESD活動に取り組める環境や体制を確立している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ESDに関して学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努めている。

成果として、生徒たちのボランティア活動への意識が向上し、主体的に取り組むような変化が見受けられる。

課題としては、国際交流に際して、外国語のコミュニケーション力の向上について、その必要性をあげる意見が確認される。外国語によるコミュニケーション力向上の取り組みによって交流のさらなる深化を図りたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESD の推進拠点校として活動成果を学校の公式ホームページにて随時発信している。

また、わが国の伝統文化の研究取り組みの成果として、和太鼓の演奏を地域コミュニティー・小中学校、さらには海外公演なども行い発表している。これらの活動により地域との連携が深まり、学校と地域の交流を深める行事が増加し、地域の方々との交流行事に参加する生徒たちがより一層主体的に地域連携に取り組む姿勢が確認できる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティー、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域の社会福祉協議会、赤い羽根共同募金会と連携し、高校生を中心とした地域社会の持続的発展の担い手の育成を図るため、子供たちのスポーツ活動について研究・検討し、地域に根ざしたスポーツ活動として女子サッカー及びハンドボールの競技に関する子どもスポーツ教室を学校において継続的に実施している。地域の子どもたちにひろく参加を呼びかけ、多くの子どもたち・保護者が参加し交流すると共に、生涯教育の基礎としてスポーツに親しむ機会を設けることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

広島県ユネスコスクール連絡協議会主催の「平成29年ESD研修会」に参加し、他のユネスコスクールの取り組みを学び、また交流した。

他校のユニークかつ熱心な取り組みに触れることができ、さらに質疑応答を通してユネスコスクールの活動の意義や実際の子どもたちの変化や成長について理解することができる貴重な機会となった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動を継続することによって地域連携の行事が増え、取り組み以前に比較して地域の様々な年齢の方とのコミュニケーションの機会が増えてきた。その結果地域のコミュニティとの連携は確実に深まりつつある。

地域の一員であることを自覚することで生徒たちは地域の持続発展の可能性に対する意識が高まり、協働する力や多様なコミュニケーションを行う力を育むことができるような変化が確認できる。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ 国際交流活動
台湾の提携校（高等学校）との交流事業
ニュージーランドの提携校（大学）との交流事業
- ・ 伝統文化の研究発表
郷土芸能、和太鼓の研究活動
演奏活動（地域のコミュニティ、小・中学校、福祉施設等での発表）
- ・ 地域連携活動
地域小学校区の通学安全パトロール（町内会の方との連携取り組み）
- ・ 世界遺産学習活動 … 「宮島」を訪れ世界遺産の理解を深める
- ・ 環境保護・リサイクル … 地域清掃、制服リユース、分別活動